



小野邸

オノ・ランドスケープ展 ONO LANDSCAPE

2005年8月5日、小野忠弘氏の四回忌を迎えました。
三国を愛し、三国に住み続けた小野忠弘氏の偉大な業績を称えONO MEMORIAL を完成いたしました。
この度、ご遺族から100点の作品をご寄付いただき、その中の31点を選び小野忠弘ランドエスケープ展を開催いたします。
本展覧会は、彼の偉業を見つめなおし、多くの人々に知っていただき、魂の風景を探る機会にできればと企画されています。他に類例のない、独自の景色が発表されます。新たな世界へと解き放ってくれるに違いありません。

第一回企画展

ジュニアスツリー展 GENIUS TREE

自然の天才、子供達2725人が描く約10000個の花が、ONO MEMORIALのオープニング展に花を咲かせます。小野忠弘氏「子供は天才だ」、巨匠ピカソ「僕のライバルは子供だけだ」という言葉のように、この花には、夢、希望、愛、勇気、遊びが満開。参加してくれた天才達は、三国町、丸岡町、春江町、坂井町、あわら市の小学一年生、二年生と三国町内の幼稚園、保育所の皆さんです。自由に咲く花を観て、私達大人に、温かな感動が心の内側から満ちてくることを発見してください。

●キュレーション:戸田正寿

●小野忠弘 経歴書●

- 1913年 青森県弘前市に生まれる
- 1933年 東京芸術学校彫刻科入学 烏海青児の知遇をうける。
- 1942年 三国町に居を定め、三国高等学校の美術教諭に赴任
戦争中、三国町に疎開していた詩人・三好達治と交流するようになる。
- 1946年 同郷の棟方志功と同じ下宿になり、一緒に制作して交流する。
- 1953年 ロンドン近代美術館主催による国際彫刻展に「無名政治犯」を出品、日本人で初めて佳作賞受賞。テートギャラリーでコレクションになる
- 1957年 フランスのミッシェル・タピエのキュレーションで「世界・現代芸術展」(ブリジストン美術館)に出品し、ミッシェル・タピエは小野忠弘の作品を「世界的に通ずる作品」と絶賛した。今日の新人57人展(朝日新聞社主催)に「ムチンのY」で新人賞受賞。
- 1958~62年 南画廊で数回個展を開催する。
- 1959年 第5回サンパウロ・ビエンナーレ展に出品する。アメリカの「LIFE」誌で「アンチプロトン」が紹介される。誌上でジャンク・アートとしてマルセル・デュシャン、ロバート・ラウシェンバークらとならんで「ジャンクアート世界の7人」に選ばれる。国際的な活躍がひろがる。

- 1960年 第30回ベネチア・ビエンナーレ展に出品する。その後、東京セントラル美術館大個展をはじめ、その他多数美術館で開催
ときわ画廊個展をはじめ15回以上
その他、国内外で招待出品に参加
ユネスコ文化賞受賞他、多数受賞
- 2001年 急性心不全にて死去(88歳)

